

医療放射線管理委員会 研修会結果報告

以下に解答画面、解答率等を付加しておきますので、参考にしてください

確認問題 1

次のうち医療被ばくに該当するのはどれか。

1. 医療機関にいる職員が、その医療機関のX線CT検査室から漏えいするX線によって受ける被ばく
2. X線CT検査室の隣室に待機している患者が、X線CT検査室から漏えいするX線によって受ける被ばく
3. 患者の付き添いでX線CT検査室に入った家族が検査時に受ける被ばく
4. 核医学治療を受けた患者を介護する介護福祉士が受ける被ばく
5. バッグマスク管理を要する患者のX線CT検査に同行する医師が受ける被ばく



確認問題 2

放射線診療の正当化について正しいものはどれか。

1. 被ばくによる健康被害が出ると懸念される場合は、放射線を用いる検査を行ってはならない。
2. ベネフィットがリスクを上回ると判断される場合に、被ばくは許容される。
3. 被ばくが100mSv以下であれば発がんのリスクはない。
4. 小児の放射線感受性は、成人と比較して変わらない。
5. 1回のCT検査で発がんリスクが上昇するとされる線量に達する。



確認問題 3

線量と画質の関係について正しいものはどれか。

1. 照射する量に比例して、画質は良くなる。
2. 照射する量に比例して、患者の被ばくが増える。
3. 照射する量に比例して、診断能は良くなる。
4. 画像診断する上で照射する量は、低ければ低いほどよい。
5. 最適な線量は、検査に固有で患者に依存しない。



確認問題 4

放射線皮膚障害のしきい線量を超えた可能性がある場合の患者への対応として誤っているのはどれか。

1. 皮膚科へのコンサルトを検討する。
2. 患者の不安を煽らないよう、障害がおこる可能性の説明は行わない。
3. 1Gy以上3Gy未満であれば被ばく線量と部位を診療録などに記録する。
4. 3Gy以上5Gy未満であれば一過性の脱毛、発赤の可能性を説明する。
5. 5Gy以上であれば脱毛、発赤、びらんなどの可能性を説明する。

▶ ▶ 🔊 22:22 / 27:39 ⌨ ⚙ 🖥 🖱 🗨

確認問題 5

放射線診療に関する患者への説明を行う責任者として正しいのはどれか。

1. 当該診療の実施を依頼した医師
2. 放射線科医師
3. 放射線科看護師
4. 診療放射線技師
5. 医療従事者であれば誰でもよい

▶ ▶ 🔊 26:54 / 27:39 ⌨ ⚙ 🖥 🖱 🗨

医療放射線管理委員会研修会閲覧率 (2021/11/01 時点)

職種	職員数	閲覧者数	閲覧率
医師	8	4	50.0%
非常勤医師	30	15	50.0%
看護部	48	40	83.3%
コメディカル	8	8	100.0%
他	4	4	100.0%
ALL	98	71	72.4%

	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	AVERAGE
正 解	3	2	2	2	1	
正解数	54	42	58	69	69	
正解率(%)	76.1	59.2	81.7	97.2	97.2	82.3